

令和5年度 第1回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日 時	令和5年5月15日（月）14時00分～15時30分
場 所	東郷町役場2階 大会議室
出席者	<p>委員（敬称略、順不同）</p> <p>松尾 健生 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）</p> <p>佐藤 裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会）</p> <p>柳 ゆかり 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会）</p> <p>原口 浩美 瀬戸保健所 健康支援課</p> <p>森本 美香 健康福祉部 健康保険課</p> <p>磯村 達己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>逸見 紀子 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>荒川 和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>村井 良則 有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ）</p> <p>池田 寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）</p> <p>半田 清春 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>野々山 次夫 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>松枝 博之 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑）</p> <p>朝倉 隆行 居宅サービス関係（メドック東郷）</p> <p>松山 陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）</p> <p>海老原 由美 住民代表（第2号被保険者）</p>
欠席者	<p>制野 司 有識者（学校法人柳城学院）</p> <p>松浦 誠司 医師（東名古屋東郷町医師会）</p> <p>福島 美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会）</p> <p>神脇 和美 住民代表（第1号被保険者）</p>
傍聴者	なし
事務局	<p>健康福祉部長</p> <p>高齢者支援課長（進行）</p> <p>高齢者支援課職員5名</p> <p>策定支援委託業者1名</p>
議 題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 在宅医療・介護連携推進部会委員の指名</p> <p>3 報告</p> <p>(1) 令和5年度の事業計画及び新規（見直し）事業について 【資料1-1～1-5】</p> <p>(2) 各職能団体からの報告について</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果報告について 【資料2-1～2-2】</p>

	5 その他 第9期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュールについて 【資料3】
配布資料	<p>会議次第</p> <p>資料1-1-1 令和5年度事業計画（新規事業、見直し事業を含む）</p> <p>資料1-1-2 老人クラブ向けスマホ教室</p> <p>資料1-2-1 とうごう学び舎がスタートします！（広報とうごう2023年5月号）</p> <p>資料1-2-2 東郷町立東郷中学校とうごう学び舎参加者募集（参考）</p> <p>資料1-3 自立支援応援事業</p> <p>資料1-4 在宅医療介護マップ</p> <p>資料1-5 令和5年度東郷町多職種カンファレンスの目的と進め方</p> <p>資料2-1 第9期東郷町高齢者福祉計画の策定について</p> <p>資料2-2 第9期東郷町高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書【抜粋版】</p> <p>資料3 第9期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール</p>

1 あいさつ

2 在宅医療・介護連携推進部会委員の指名

事務局	委員長代理から委員の推薦をお願いします。
委員長代理	委員長の方から連絡を受けている。部会委員に松尾委員を指名する。
事務局	ご異議なしということで、松尾委員をお願いします。

3 報告

(1) 令和5年度の事業計画及び新規（見直し）事業について

事務局	(資料説明) 資料1-1～5
委員長代理	ただいまの事務局の説明について、ご質問等はないか。
委員	所管が違うからだと思うが、認知症の関係で愛知警察署とあったが、近隣市町、みよし市が絡んできたりすると思う。そのあたりの連携の策はあるのか。みよし市に行く方も多いと思うので、連携の方策は考えられているか。
事務局	みよし市との連携だが、協定は愛知警察署との話だが、みよし市とも普段からオレンジネットワークという、豊明、日新、長久手、みよし市も加わった情報ネットワークがあり、一人歩きの方の情報もメール配信などを希望するご家族などにするといった連携を取っている。愛知警察署との連携も、みよし市が先駆けて豊田警察署と進めているという話があり、このような連携の運びになった。
委員長代理	ほかに質問などあるだろうか。よろしいか。それではまた何かあれば会議終了後にも事務局までお尋ねいただきたい。

(2) 各職能団体からの報告について

委員	北部地域包括支援センターでは今年度力を入れたいことが3つある。1点目は先ほど事務局から報告があった多職種カンファレンス。見直しを行い、今年度からじっくり地域課題を抽出していこうということで軌道に乗せていきたいと思う。もう1点は押草団地の実態把握。昨年度までは諸輪住宅を回っていたが、団地の方たちの近隣との付き合いのなさがあり、閉じこもりや重症化してから表面化することがあり、押草団地の実態把握を頑張りたいと思う。3点目が、和合地区と御岳地区に出向いての介護相談をしていきたいと思う。
委員	南部包括では2つある。1つは認知症カフェ。第2、第4日曜日にカフェを開いている。認知症本人と家族の出かける先の確保、介護者のストレス軽減、認知症理解を地域に広めることを目的にしている。男性介護者の集いが当事者によって立ち上げられており、その方たちも活動してくださっている。昨日もカフェがあったが、2組の夫婦と、奥様が入院している方の5名の参加があった。同じ経験をしている方同士共感を得られ、気持ちが楽になり、余裕ができて笑顔で帰っていかれるのを見ると良かったと感じている。もう一つは、サロンの巡回をしている。南部は交通の便が悪く、相談したくても行けない人がある。こちらから出向いて相談を受け付けている。今年度も2か所行くことになった。顔を覚えていただき、なじみの関係になって相談しやすい関係性をつくっていきたいと思っている。
委員	昨年度からオーラルフレイルについて、各職種と連携して口の機能が低下している高齢者を中心に、いい状態をつくっていく教室を行っている。また介護ケアも積極的に参加している。今年度から依頼された方に出張講座を行っていくことになった。また必要があれば声をかけていただきたい。
委員	日進東郷長久手薬剤師会で動いている。月1回定例会で情報共有と、医療関係の勉強会を続けている。各市町でのイベントには引き続き参加し、脳年齢測定や薬の相談を実施する。今年度からの学び舎や出張講座も対応するので引き続きお願いする。
委員	東郷町リハビリテーション連絡協議会では、高齢者支援課と色々な事業を検討している。令和4年度は地域リハビリテーション支援事業や介護予防事業にリハ職を派遣、調整させていただいている。今年度から地域包括支援センターが実する教室や出前講座の依頼も受けている。今後とも町の皆様の助けになる活動を進める。
委員	東郷苑においては利用率が低迷しており、各方面に営業サービスをするように周り、施設について知らせることを頑張っている。職員数もなかなか確保できない状況の中で、利用者を受けていくのも大変だが、地域に根差した福祉施設として、一層利用者の確保推進をしたいと思っている。皆様からも介護度があり、家庭で介護が難しいということがあれば、いつでも相談していただければと思う。

	<p>よろしく願います。</p>
委員	<p>居宅サービスでは、介護職の不足が顕著になっている。先月、今月と退職者も出ている。地域としてケアしなければならない職種の人が退職してしまう、それぞれ理由はあってもなかなか若い方 20 歳代、30 歳代が入ってこない、50 歳代が一番多い現状。町としても求人関係、介護に若い人が入ってこれるような提案などをしていただければと思う。そういう方が少しでも介護に向いていただければ、施設だけの努力ではなかなか人が集まらないのが現状だ。町と地域の方で興味のある方があれば見学に来ていただける環境をつくっているの、地域と連携しながらやっていきたいと思う。よろしく願います。</p>
委員	<p>居宅支援事業所もみの木では、ケアマネジャーの仕事としては昨年同様こなしていききたいと思う。困難事例などが出てくるので、その際には地域包括支援センターや東郷町役場との相談で進めていきたいと思う。ケアマネジャーの仕事があまりに業務が増え、保険業務以外にやることが一杯出ている。ヘルパーサービスを利用している利用者で発熱があると、サービスが停止し、ケアマネジャーが銀行に同行したり、配食サービスで業者が訪問した際に留守や連絡がつかない場合もケアマネジャーに連絡が来るなど、とにかくやることがいっぱい範囲があいまいということがケアマネジャーの満足度が低い結果にもなっている。そういうところを何とか解消しながらやっていきたいと思う。</p>
委員	<p>東名古屋医師会医療介護総合研究センターは、日進市にあり、研究センターでの事業としては医師会の管内が 3 市 1 町ということで、そのエリアで活動している。昨年度より前からだが、年 2 回健康教育講座を実施している。会場の都合で、日進市民会館などが中心だが、他の地域で、東郷町の町民会館でも一昨年開催したことがあるが、なかなか他の地域に出向いてというのができていないのが課題である。他には専門職向けの研修会として昨年度は ACP の研修を、コロナで延期になって 3 月に実施したが、続けて開催の要望があり、今年度も計画をしたいと企画立案中である。後は地域の課題について、データや今回高齢者福祉計画作成にあたってのアンケートも詳しくされているので、参考にしながら研究センターでもどういう課題があり、どう対応したらいいのか、時間をかけて分析したいと思っている。</p>
委員	<p>かけはしでは、東郷町、豊明市、藤田医科大学との 3 者共同事業として行っており、医療職・介護職の連携強化や切れ目のない医療体制の構築等に取り組んでいる。その円滑のために各種研修を開催したり、実際に切れ目のないというところで難しい状況があるのが、入退院場面の連携の不具合があるので、入退院支援に関わる職種と地域の支援者との連携等に取り組んでいる。また、個別の連携支援で町民から直接ではなく、支援している専門職からの相談を受けている状況がある。まだ東郷町内での周知が不足しており、機会が少ないということがあるので、地域包括も含めて実施していきたいと思う。研修会は、今年度は介護保険事業所も障害の事業所も BCP という災害時の計画をつくるように言われているのが</p>

	今年度中となっており、まだ途中の事業所もあると思うので、意見交換や研修の場を設けたいと思っている。
委員	新型コロナの関係では第8波がやっと収まってきており、法的には5類に変わり保健所の役割は大きく変わったが、ウイルスが変わったわけではないので、第9派が来たらどうするかと不安も残っていると思う。愛知県としては、相談窓口は引き続き保健所において支援していきたいと思う。この3年間保健所業務がかなりストップしており、今年度から管内の市町と連携しながら、会議や研修も進めていきたいと思う。
委員	健康保険課は、役場の組織改革で、もともと健康推進課だったものが、母子と、子ども以外が一体化され、介護と保険の一体化事業が一体となって成年部門となった。別でやっていたものが一緒になって、医療費や介護保険を分析しながら課題を見出し、効率のいい保険事業をやっていくということで、一本化したので力を入れていきたいと思う。新規としていきいき度チェックというものを行っているが、その先生の講演会があり、180名くらいの申し込みがあり楽しみにしている。歯科の先生からもあったが、オーラルフレイルチェックや健康教室、フレイルチェックとして地域に出向いての予防に力を入れたいと思う。
委員	民生委員の任期は3年で、昨年度12月に任用されて半年過ぎたところである。その前3年はコロナで、半数交代で顔も見ずに終わった方も多く、立て直しを図っている。今まで会議等でも積極的な意見がなかったが、民生委員の活動に温度差がある。4部会があるが、部会活動を中心に交流を図りながら、個々に連絡を取っていくということで、部会も地区が偏っていたので、全地区バラした。辞める時に部会もなくなることがあったので、バラした。高齢者部会では冊子も作るなど積極的に活動している。それらを中心にますます活動が広がるので、各地区の温度差をなくすように、活動が変容するように動いている。また民生委員のなり手不足も大きな問題である。不足している地区も多いので、拡充しながらレベルアップを図るのが今期の課題になる。
委員長代理	これまでの報告について質問等あるか。よろしいか。 それでは議題に入る。(1) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果報告について、第9期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュールについて、併せて事務局より説明をお願いします。

3 議題 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果報告について

事務局	資料説明資料2-1、2-2
委員長代理	ただいまの説明についてご質問等あればお願いします。
委員	資料6ページの外出についてだが、コロナを受けてだと思いが、実際に外出を控えている人が増えたということがあった。全国的にコロナでの外出控えから影響が出ているという研究結果も出ているが、東郷町で実際に外出控えによる影響

	が実際にあったり予兆があるということはあるだろうか。
事務局	東郷町としては特にそういう影響や予兆を感じることはなかったと思う。はっきりしたことはわからないが、教室の参加者は通常通りに戻っており、むしろ増えている状況である。ただ、説明を省いたが、資料13ページで制度について周知できていると思っていたが、広くアンケートを取ると社会参加についての認知がされておらず、一部の方にとどまっていると感じるところである。情報が行き届いていない方にどうしていくかが一番の課題だと思っている。
委員	言葉が引っかかったのだが、12ページで、より若い世代の高齢者という日本語がよくわからない。高齢者の若い人という表現ではどうかと思った。
事務局	より若い世代の高齢者という表現については、わかりにくくて申し訳ない。前期高齢者という意味合いで表記していた。
委員	13ページ以降だが、趣味や特技ということがあるが、もう少し突っ込んでほしいと思うのは、総論賛成各論反対ということで、安心・安全な町づくりは皆さん賛成でもそのイメージは違う。各地区の問題だと思うが、趣味や特技が生かせる地域活動として、個々のものは集約していないと思う。抽象的という気がする。また地域活動を知らないとか、不足していないという回答も同じように関係していると思うが、コロナ禍で地域活動は制約されてる。役場から中止の通知もあり各地区で止まっていたと思う。知らないではなく、やっていないということがあり、そのあたりを認識されているかということである。それを踏まえてのアンケートだと思うが、それをとらえているかということである。減少している、と決めてしまうことがどうかと思う。一言欲しいと思う。
事務局	13ページについては、東郷町独自の質問で、今後の分析の中でどこまで深くするか、コロナの影響については一つ一つの質問では明確ではないところもあるので、計画策定において検討したいと思う。
委員	そうしていただけるといい。
委員	調査結果の表し方だが、計画書に載せる時に、令和元年度と4年度との比較で、前は28年度と元年と並んでおり、増えた、減ったということについてはコロナの影響もあるので、元年を先にして4年後にするという順序でもよいと思う。
事務局	グラフの記載順についてのご意見と受け止めた。参考にさせていただきたい。
委員長代理	私からの質問だが、地域包括支援センターについて、調査では認知度が前回より上がっている。現場において相談件数が増えている、関わる人が増えているといったことが、それぞれのセンターで実感として感じているか、どうだろうか。
委員	南部包括だが、南部は知名度が低い。できて5年目に入った。いまだに北部に相談に行く方もあるくらいだが、困っている方は自分から困っていると言いは来てくれなくて、巡回してわかることはサロンのスタッフや民生委員が包括につなげてくださるようになった。包括につなげてくれる人が増えたことは実感している。
委員	北部包括では、直接的な実感というより、相談件数が増えているのは数字とし

	<p>て出ており、周知が進んで相談が入るようになったととらえられると思う。ただ、アンケートの中で、質問とは違うが、男女で知っている、知らないのポイント差がかなりあったことがわかり、男性への周知やアプローチを今後包括としても考えていきたいと思ったところである。</p>
委員	<p>ケアマネジャー調査結果の中で、不足しているサービスについて、懸念していることとしては松山委員からもお話があった通り、ケアマネジャーのやりがいさが減っている状況が、東郷町だけでなく全国的にあり、受験者も減っており、各事業所も人員確保が難しい状況である。目の前に介護難民が出そうな状況で、ケアマネジャーが足りているかどうかは問うていく必要があると思う。35 ページで賃金が低いという回答も今に始まったところなのかということがあるが、前回より増えているということで、厳しい状況があるということを感じている。個々の事業所の努力で何とかなるのか、東郷町で開業したいという人を引っ張ってくる施策ができるのか。近隣市町村では法定研修の費用を負担する制度があるところも聞くので、何かしらの手段を講じなければ厳しい状況になるというのが、もちろんヘルパーが足りないというのもそうだろうが、間近に迫っているという意識を持っている。</p>
委員長代理	<p>今のご意見について何かご意見等あるだろうか。</p>
委員	<p>私も同じで、実際東郷町内の居宅事業所から、もう閉めるという話があり、担当している利用者の割り振りを町内の別の事業所でやっている。そうすると新しく介護保険サービスを受けたい方を引き受けるケアマネを町内で探すことができず、豊明は比較的余裕があるようで、豊明の事業所にお問い合わせする状況が続いている。南部も同様で、町内全体でそういうことがあり、ケアマネ難民と言われるが、心配はしばらく継続するのかなと考えている。</p>
委員	<p>包括も要支援のケアマネをしているが、どこの事業所も要支援の方を受けてもらえず全て包括で受けなければならない。包括は要支援のケアマネもすれば一般の高齢者の介護予防もしている。要支援は厳しい状況である。</p>
委員	<p>在宅医療と介護の連携で、ケアマネの調査結果は興味がある。医師会の東郷支部のクリニックも少ない状況で、入院の期間、急性期の病院が1か所閉院して、全くない状況で、医療と介護の連携に力を入れなければ医療も崩壊という大げさだが、そうなっていくと思っている。調査結果の33 ページ（介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですかという質問）で居宅療養管理指導のところで、前回と今回で非常に差が大きくなっている。これはどのように分析をしたらいいのかよくわからなくて、もしわかれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>この結果については、まだ分析まではできていない状態である。ただ町内の事業所でやっている事業所が増えたり減ったりしたことはないはずなので、ケアマネにやっていただいている事業所で、事情が分かれば包括等で教えていただければと思う。今後計画に盛り込む際にはご意見もいただければと思うが、もし何か</p>

	<p>あれば、大幅に減っているのでは、ご存じでしたら教えていただければと思う。</p>
委員	<p>自分たちの振り返りとして、なかなか在宅に割ける人員がない状況があり、少なくなっているという実感がある。先生も少ないので依頼自体が少ないのかなと思う。</p>
委員	<p>コロナのワクチンの担当部署だったが、町内医療機関の先生に本当に協力していただき、小さい医院から結構なワクチンをしていただいていたので、在宅までは少なくなった可能性があるかとみていた。ほぼワクチンをやっていたので、その影響もあるかと思う。</p>
委員	<p>(介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですかという質問で居宅療養管理指導が) 令和4年度が6.3%で不足していると思っていないという状況である。コロナ禍でなかなか訪問に行けない状況から、訪問に対応する事業所が増えていない状況もあるのに、不足の考え方はどういうことだろうと思う。令和元年度を振り返ると依頼の手順が周知されておらず供給が足りていないと感じられたのが、今はやり方がわかって不足していないと理解してもいいのか、それ以外の要因があるのかがわからないというところである。</p>
委員	<p>東郷町で在宅診療の依頼が少ないということだが、例えば東郷町ではもともと在宅をしている医療機関も少なく、例えば日進市はたくさん実績があるが、そういうところとの関係はあったりするのだろうか。</p>
委員	<p>もともと私の地域ではみよし市との連携はある。委員がご指摘のように周知活動は増えているので、そういう周知としてこの結果になっているなら喜ばしいと思う。</p>
事務局	<p>ケアマネジャーの調査が三十数名なので、そのイメージで変わってくると思う。今回増えているのが、訪問リハビリが不足していると感じているということで、その人の利用者の中で増えていけばそのイメージが強くなってアンケートに反映される可能性もある。ただ、実際に不足しているのか、周知が不足しているのかという部分もあると思うので、今後分析して計画に反映させていきたいと思う。</p>
委員長代理	<p>アンケート結果についてはまた事務局にお問い合わせいただければと思う。では、全体を通して何かご意見はないだろうか。よろしいか。</p> <p>それでは本日の議題はこれで終了となる。進行を事務局にお返りする。</p>
事務局	<p>続いて事務連絡である。次回の地域ケア推進会議は令和5年度8月3日午後2時から、こちらの会議室で予定している。あらためて開催のご連絡をするので、ご出席をよろしく願います。以上を持って、令和5年度第1回東郷町地域ケア推進会議を終了する。</p>

以上